

新築建物で所属教養を実施

2月2日(木)、当署では16,000㎡以上の床面積をもつ、引渡し前の新築複合用途防火対象物において、警防態勢へ最大限の配慮をしたうえで、予防教養を実施しました。本教養は、建設現場の施工業者、消防設備業者の全面的な協力を得て実現できたものであり、連結送水管のフースターポンプや立体駐車場の不活性ガス消火設備、防災センターの構造等について、施工業者や消防設備業者の説明を受けることができ、予防係員による検査要領の解説と合わせて、非常に質の高い教養となりました。

武蔵野消防署は今後もこのような機会を逃すことなく、消防行政の質の向上を図り、安全・安心なまちづくりへと繋がります。

